

令和4年3月那珂川市議会定例会
代表質問通告書

順番	会派	質問事項	質問の要旨（具体的に）
1	清流自民	(1) 「ゼロカーボンシティ那珂川」について	① 本市のCO2実質排出量をどの程度と捉え、どのような施策で実質ゼロにするのか、施策の内容を示せ。
		(2) 「市民の安全な暮らしを守るまちを実現する」について	① 消防団員の報酬の引上げが予算化されているが、引上げ率とその支給形態を示せ。 ② 雨水事業において、松木1丁目交差点の浸水対策事業の今後の工程を示せ。
		(3) 「高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせる環境をつくる」について	① 令和4年度に設置予定の5つ目の第2層協議体とともに生活圏域に捉われない市全体の取組はできないか。
		(4) 「自然と調和した快適に暮らせるまちづくり」について	① 五郎丸地区の新市街地創出について、現在の進捗状況と今後の展望を示せ。 ② 観晴が丘公園整備事業費の測量設計業務委託料が予算計上されているが、今後の工事計画はどのように進捗していくのか示せ。
		(5) 那珂川市文化芸術推進審議会設置について	① 本市のこれまでの文化振興施策の課題をどう捉え、今後に生かそうとしているのか示せ。
		(6) 「自然資源を活かした農林業を振興する」について	① 有害鳥獣について、新たに鳥類を対象にした箱罾とは何か。 ② サルの個体数調整について、毎年の調整数と最終的な個体数を示せ。
		(7) 「地域の資源を活かした活力あふれるまちづくり」について	① 企業誘致に至った事例と今後の取組方法を示せ。 ② 企業誘致等私有地土地活用台帳の登録数とその取組を示せ。

順番	会派	質問事項	質問の要旨（具体的に）
2	無所属の会	(1)「支え合い、安心して暮らせるまちづくり」について	<ul style="list-style-type: none"> ① コロナ禍においても活動を工夫しながら実践している事例を情報共有するなどあるが、「ボランティア支援センターくるりんぼ」が行うのか。 ② 防災意識の向上を図るとともに複数のメディア情報を伝達できるよう、情報配信するためのシステムの構築とあるが具体的には。 ③ 松木1丁目交差点の浸水対策事業に取り組むとあるが、工事概要と完了予定日は。 ④ 恒常的に医療的なケアが必要な子どもやその家族への支援として、看護師派遣やレスパイト支援とあるが、具体的な内容は。 ⑤ 8050問題やヤングケアラーの問題などに対応するとあるが、それぞれの対象者数を把握できているのか。
		(2)「誰もが学び、育むまちづくり」について	<ul style="list-style-type: none"> ① スクールソーシャルワーカーを1名増員して、中学校区ごとに1人を配置とあるが、合わせて児童・生徒指導支援員の増員はあるのか。
		(3)「自然と調和した快適に暮らせるまちづくり」について	<ul style="list-style-type: none"> ① AIやRPAなどを活用し、引き続き事務の効率化にも積極的に取り組むとあるが、その職務は、課や担当の兼務ではなく専門職の配置を行いセキュリティ強化するのか。また、デジタルに関する専門家をパートナーにつける委託や会計年度任用職員を雇用するのか。
		(4)「自然の豊かさを感じるまちづくり」について	<ul style="list-style-type: none"> ① 有害鳥獣による農作物への被害を軽減するため新たに鳥類を対象とした箱罾を設置するとあるが、現行制度の捕獲補助金の増額はあるのか。
		(5)「地域の資源を活かした活力あふれるまちづくり」について	<ul style="list-style-type: none"> ① 企業誘致はどこにどのように行うのか。 ② 観光の推進の中で、グリーンピアなかがわバンガローサイトは今後どうなるのか。 ③ 安徳台遺跡については「保存活用計画」に基づき、地元関係者等とも連携を図りながら、史跡地の保全や史跡の活用に向けた情報発信等に取り組むとあるが、那珂川町文化財保存整備計画にある「なかがわまちエコミュージアム」の実現化に向けて、これらの史跡を含む「安徳エリア」として取り組むべきではないか。

順番	会派	質問事項	質問の要旨（具体的に）
3	みらいえ	(1) 新型コロナウイルス感染症対策について	① 国の事業復活支援金に対し、市として、前回のようなか小企業等支援金の支給を上乗せ給付する考えはあるか。
		(2) 新型コロナウイルスワクチン接種について	① 5歳から11歳への接種について、どのような手法を用いて接種希望者にワクチン接種を実施するのか。 ② ワクチン接種は強制ではなく、選択の自由が尊重される。ワクチン接種をしない選択をした児童生徒が差別やいじめを受けないような対応を行うべきと考えるが見解は。
		(3) 「支え合い、安心して暮らせるまちづくり」について	① 「市民による地域力を発揮できる協働社会を推進する」の、ボランティア団体への支援と連携を継続するとは、具体的にどのような支援と連携を行うつもりなのか。また、今までの支援と連携による効果は。 ② 集客イベントができない今、パネル等の展示など団体が活動を発表する場を提供し続けて活力だけは維持し続けていただける取組を求めるが見解は。 ③ 「市民の安全な暮らしを守るまちを実現する」の情報配信のシステム構築とは。 ④ 浸水対策事業に関しては、集中的な豪雨により一時的に冠水する場所は多々ある。今後、どのような施策をもって内水氾濫を抑制されていくのか。 ⑤ 「高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせる環境をつくる」について、本市において日常の買い物もままならない方々の状況は。
		(4) 「誰もが学び、育むまちづくり」について	① 「安心して出産、子育てできるまちをつくる」について、本市の子ども子育ての施策に関しては、子育て世代の方々から、子育て、就労、交通、環境についての意見聴取を行い、その意見をまちづくりに取り入れてみては。 ② 「市民一人ひとりが生涯学習やスポーツに参加しやすい環境をつくる」について、那珂川市総合運動公園の特別目的会社SPCとなり得る、またはその代表企業を検討している意思のある企業へは、定期的に意見や情報交換を行う必要があると考えているが現在の取組状況は。

順番	会派	質問事項	質問の要旨（具体的に）
3	みらいえ	(5)「自然と調和した快適に暮らせるまちづくり」について	①「自然と調和した快適な都市基盤をつくる」について、五郎丸地区の新市街地創出に繋げたいとのことだが、地権者の総意として土地区画整備事業を実施することに決まったと受け止めて良いのか。
		(6)「自然の豊かさを感じるまちづくり」について	<p>①「環境に配慮した地域社会をつくる」の2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すために、環境に関するマスタープランである「第3次那珂川市環境基本計画」の改訂と、新たに「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の策定を行い、カーボンニュートラルに向けた取組を計画的に進めるとのことだが、その改訂と策定の完了時期はいつ頃になるのか。</p> <p>② 飼い主のいない猫への不妊去勢手術費用に対する補助制度について、動物愛護に対する意識が高揚すると考えるが、昨年から今年にかけて、本市において犬や猫の遺棄が立て続けに発生している。動物愛護の観点から、何らかの対策を講じていかなければならない。現状の把握と今後の取組を共に考えていただきたいと考えるが見解は。</p> <p>③「自然資源を活かした農林業を振興する」の農業の活性化とは、生産者の意欲向上や新規就農者が増えることである。そのためには、収益をもたらす農業が必要で、地域ブランドの農産品を確立させることが急務ではないかと考えるが見解は。</p>
		(7)「地域の資源を活かした活力あふれるまちづくり」について	<p>①「地域の経済・雇用を支える産業を創出・育成する」の企業誘致だが、大企業が進出してくるような広大な土地が本市には無い現状において、中小規模の企業及び出先機関について着目しなければならない。小規模事業者において、本市の企業誘致条例はハードルが高すぎるため、改善を図るべきであると提言してきたが、現在どのような状況か。</p> <p>② 商工会との取組について、商工会役員、市長、担当部課長との懇談会は、定期的実施されているのか。</p>

順番	会派	質問事項	質問の要旨（具体的に）
4	日本共産党	(1) 新型コロナウイルス感染症対策について	<ul style="list-style-type: none"> ① 市民の暮らしを応援する経済支援について ② 自宅療養者支援、福岡県との連携協定について ③ コロナ禍の子どもたちの影響について
		(2) 五ヶ山ダム近くに埋設されている猛毒ダイオキシンについて	<ul style="list-style-type: none"> ① 完全撤去について
		(3) 「ゼロカーボンシティ那珂川」宣言について	<ul style="list-style-type: none"> ① 住民政策提案に取り組んだ市民の思いについて ② 再生可能エネルギー施策について ③ 乱開発規制の単独条例について
		(4) 子育て支援について	<ul style="list-style-type: none"> ① 「那珂川市子どもの権利条例」について ② 保育サービスの充実について
		(5) 職員教育について	<ul style="list-style-type: none"> ① 住民奉仕という地方公務員の基本理念について
		(6) グリーンピアなかがわについて	<ul style="list-style-type: none"> ① 長く休園が続いているが、再運営に向けてのこれまでの検討内容について
		(7) みどりの森公園について	<ul style="list-style-type: none"> ① 下流域の問題の整理について ② 今後について

順番	会派	質問事項	質問の要旨（具体的に）
5	公明党	(1) 「ゼロカーボンシティ那珂川」宣言について	<p>① 市民との認識を共有するために宣言の積極的な啓発が必要だが、宣言の広報計画を尋ねる。</p> <p>② 宣言について、学校教育の場でもしっかりと学べる機会の提供が必要だが、見解を尋ねる。</p>
		(2) 環境に配慮した地域社会をつくるについて	<p>① 政府では2030年までの二酸化炭素排出量削減目標を「2013年度比46%減」と示されているが、これを地球温暖化対策実行計画の事務事業編及び区域施策編に盛り込むのかを尋ねる。</p> <p>② 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定の時期、再生可能エネルギー導入までの時期は、いつ頃と想定されているのかを尋ねる。</p> <p>③ 市内の民間事業者と連携しながら、電力の地産地消、地域経済の活性化、そして二酸化炭素の実質排出量削減につながる地域電力会社をつくることを提案したいが、見解を尋ねる。</p>
		(3) 「自然資源を活かした農林業を振興する」について	<p>① 温室効果ガス吸収源として認められる森林は、1990年以降に「森林経営」を施した森林を指す。森林が面積の7割を占めている那珂川市では二酸化炭素排出量の一部を埋め合わせるというカーボン・オフセットの活用を考える必要があると思うが、見解を尋ねる。</p> <p>② 政府では、CLTの積極的な活用に向け動き出しているが、これを好機と受け止め、市の林業振興に積極的に乗り出すことで適切な森林経営が実現され、ひいては二酸化炭素削減の目標達成に資すると思うが見解を尋ねる。</p>
		(4) デジタル行政について	<p>① スマートフォンを活用した住民票や所得・課税証明書などの各種証明書の申請は、来庁不要のデジタル市役所となる。これは市民が「すぐ使えて」「簡単で」「便利な」行政サービスを提供できるデジタル化を象徴するものだ。他にも、市からの告知物や区からの回覧板等を専用アプリでの配信、健康診断の予約、公共施設の空き状況の確認や利用予約、GPSによる高齢者の見守り、高齢者からの緊急通報等々様々なことを、スマートフォンを使えば実現できる。「スマートフォンを活用した市のデジタル化構想」を検討してはどうか見解を尋ねる。</p> <p>② スマートフォンを利用できる人とそうでない人による格差があるのも事実である。行政のデジタル化の手始めとして通信会社と提携した「スマートフォン講習会」の実施を提案したいが見解を尋ねる。</p>